

Let's
フォト美&フォト絵の
おまけ
レタッチ
#5

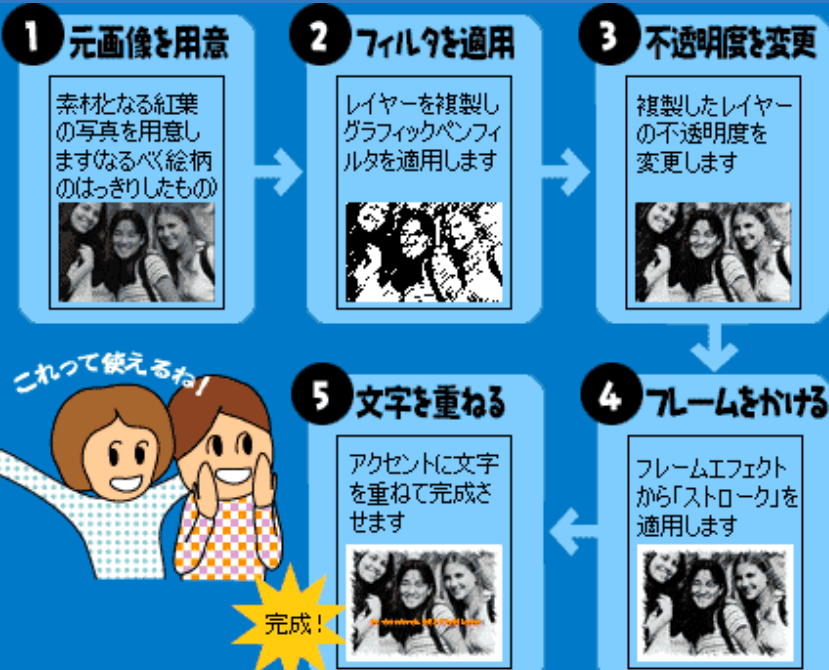
手描き風フィルタで、写真をイラスト化してみよう



今回は、デジカメ撮影機能やレタッチお助け隊で得たモノクロ写真を使って、手描き風イラストにレタッチしちゃいます。
今まで写真画像としての補正や色変換しか行ったことがない人は、ぜひ一度試してみてください。写真画像を挿絵のようなイラストにレタッチできると、とっても楽しいよ！

【今回使用したソフト】AdobePhotoshopElements(TM) アドビシステムズ

こんなイラスト写真を作ってみよう!



完成!

Section 1 元画像を用意する

まず、元画像となる写真を用意します。
ここでは、レタッチお助け隊で完成したモノクロ写真を使うことにします。
ちなみに写真は、なるべく絵柄のはっきりしているものを使いましょう。絵柄が細かかったりはっきりしない写真は、レタッチソフトのフィルタを適用すると、何のイメージかを視認できなくなる場合があります。



Example

■元画像

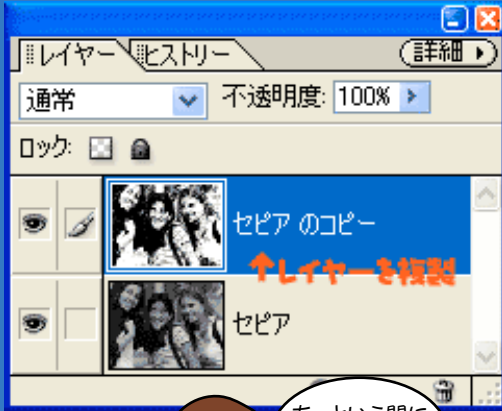
今回は、この写真を元に加工していきます。



Section 2

「グラフィックペン」フィルタを適用する

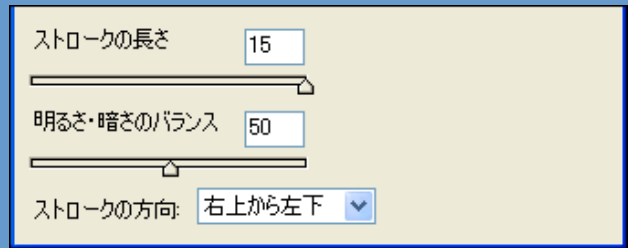
つぎに、レイヤーを複製します。
そして、複製したレイヤーに対し、[フィルタ]-[スケッチ]-[グラフィックペン...]を実行します。



Challenge

■「グラフィックペン」フィルタ

「グラフィックペン」ダイアログボックスでは、適当な値を設定してフィルタを適用します。



※値は、画像の内容によって異なります



Section 3

レイヤーの不透明度を設定する

Section2のレイヤー(複製した方)を選択し、不透明度を50%に変更します。



Challenge

■レイヤーの不透明度を50%に

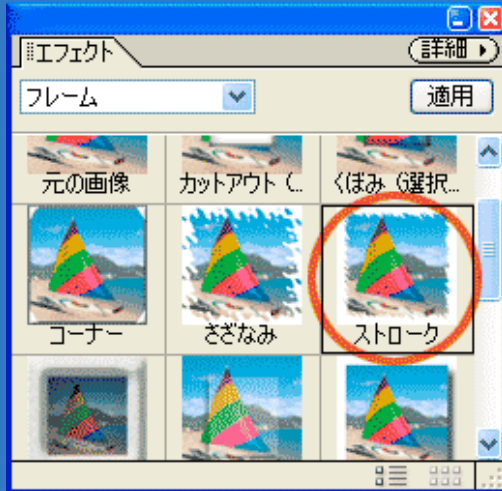
グラフィックペンフィルタを適用した結果、画像のトーンが白と黒の2階調になってしまいました。そこで、複製したレイヤーの不透明度を下げ、元画像を透かせることで、グレートーンを上げてみました。多少リアル感がよみがえったと思います。



Section 4

フレームエフェクトで切り抜く

そして、[エフェクト]パレットから[フレーム]-[ストローク]を実行します。



Challenge

■フレームエフェクト「ストローク」

操作方法は、エフェクトパレットの「フレーム」から「ストローク」を選択し、そのまま画像ウィンドウへドラッグします。



すると、レイヤーを統合するかどうかのメッセージが表示されます。ここは「OK」で操作をすすめてください。



Section 5

文字をアクセントに完成させる

最後は、お好みで文字を重ねてみました。フォントや文字色を工夫すれば、立派なアクセントになりますので、ぜひ、あなたの感性で試してみてください



Success

■アクセントに文字を重ねて出来上がり

